

生分解性マルチの利用状況 樹脂の出荷量調査結果について

2023年度（2023年6月～2024年5月）の出荷量調査の結果をお知らせします

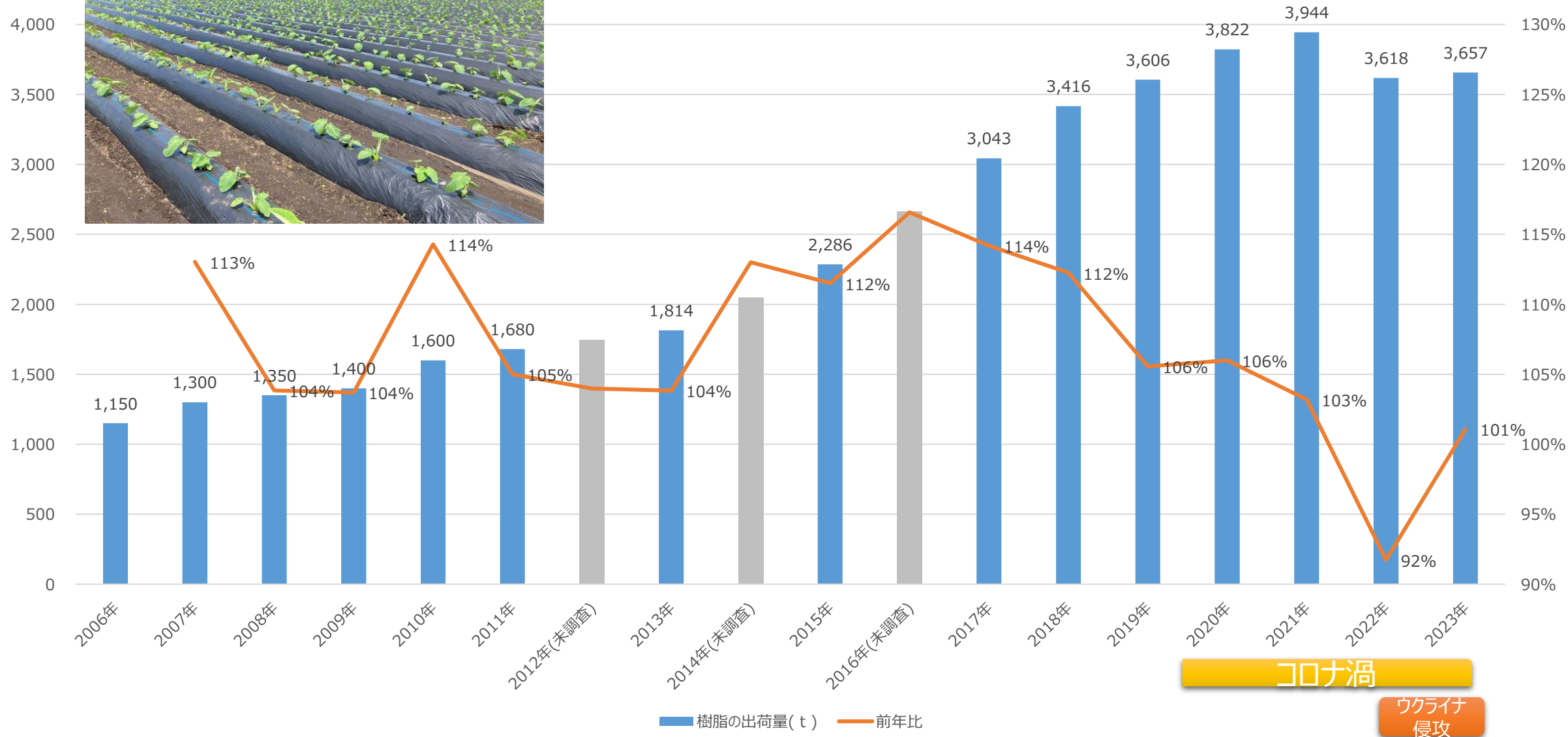


農業用生分解性資材普及会
2025年3月27日

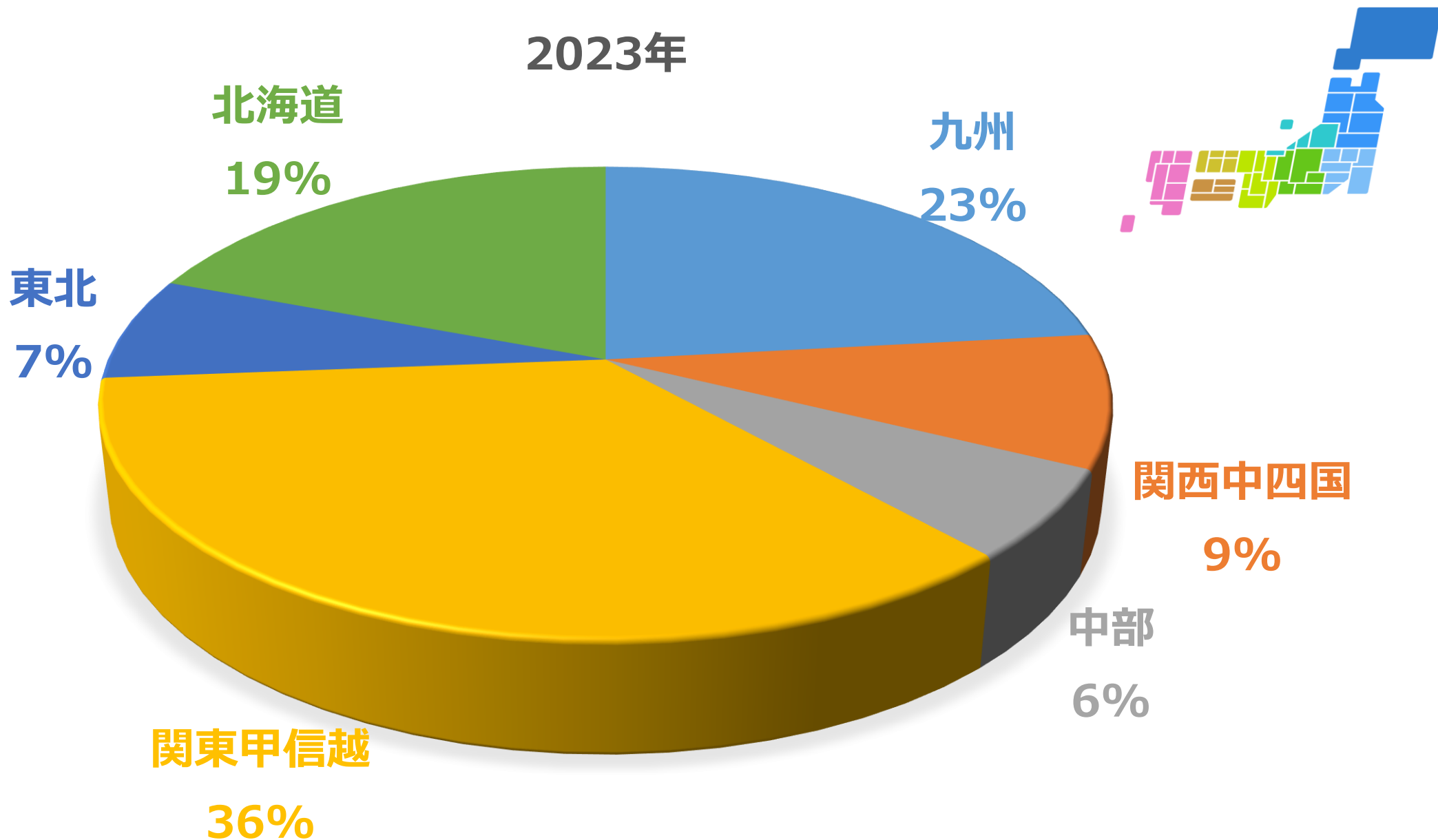
生分解性マルチの利用状況 樹脂出荷量 (トン)



生分解性マルチの樹脂出荷量 トン



生分解性マルチの利用状況 地域別シェアー



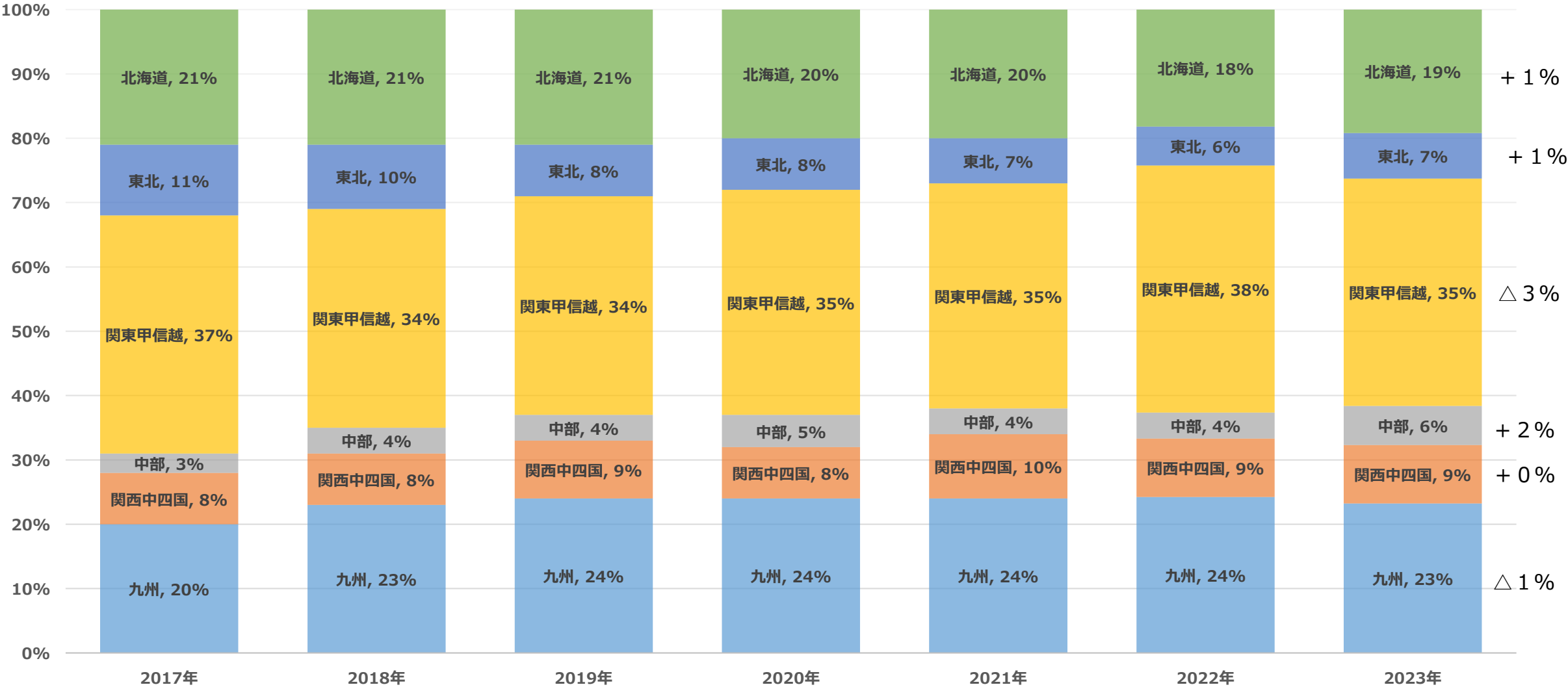
生分解性マルチの利用状況 地域別シェアー



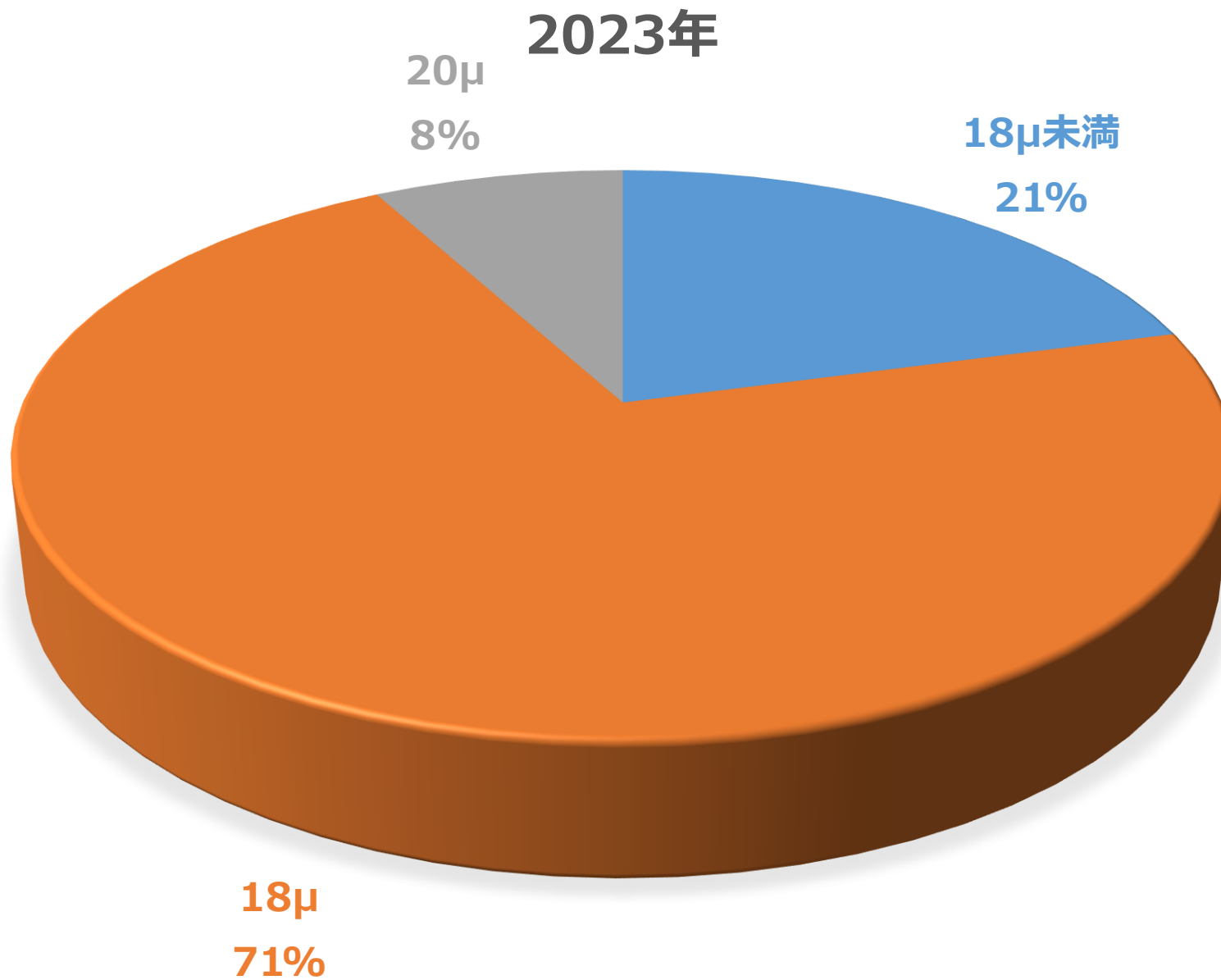
生分解性マルチの利用状況 地域別シェアー

九州 関西中四国 中部 関東甲信越 東北 北海道

前年差



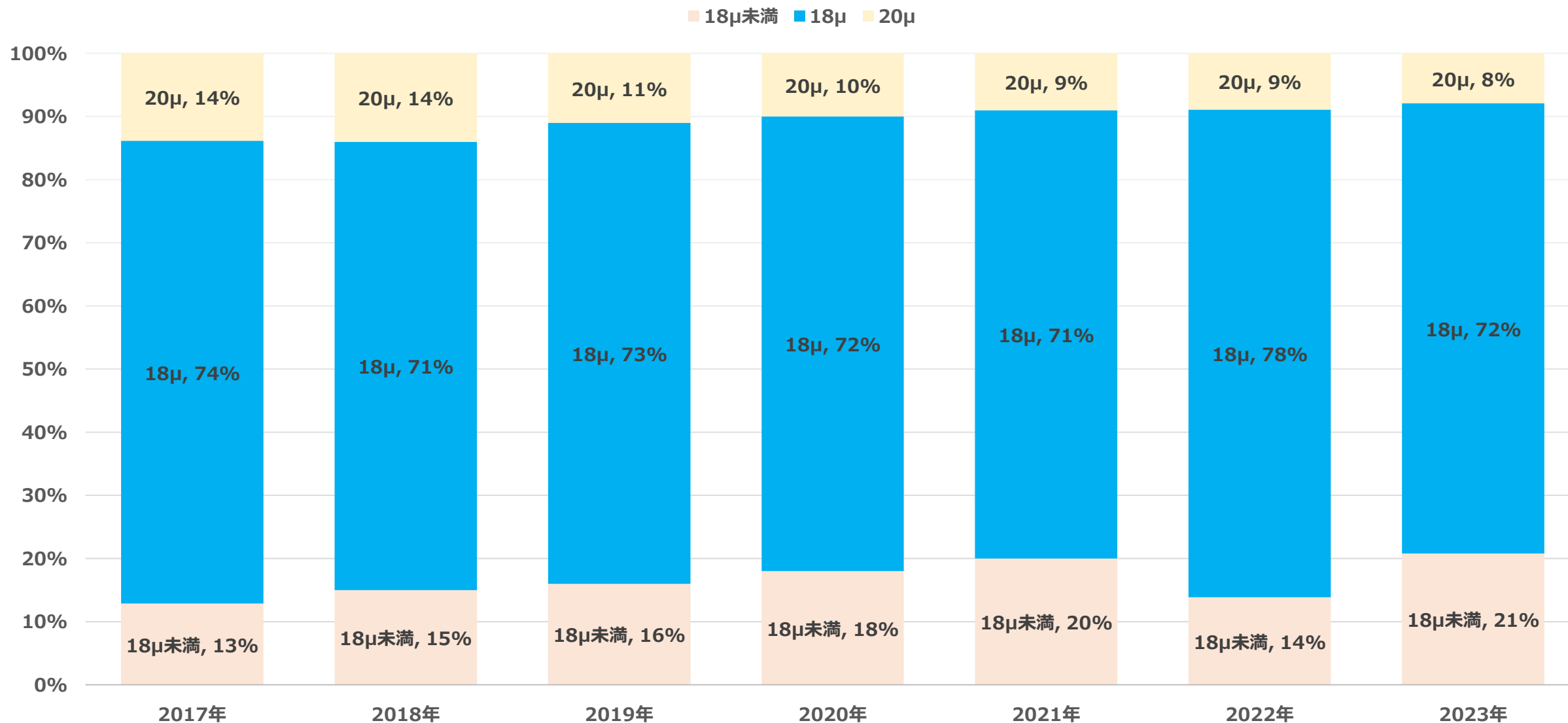
生分解性マルチの利用状況 厚み別割合



生分解性マルチの利用状況 厚み別割合



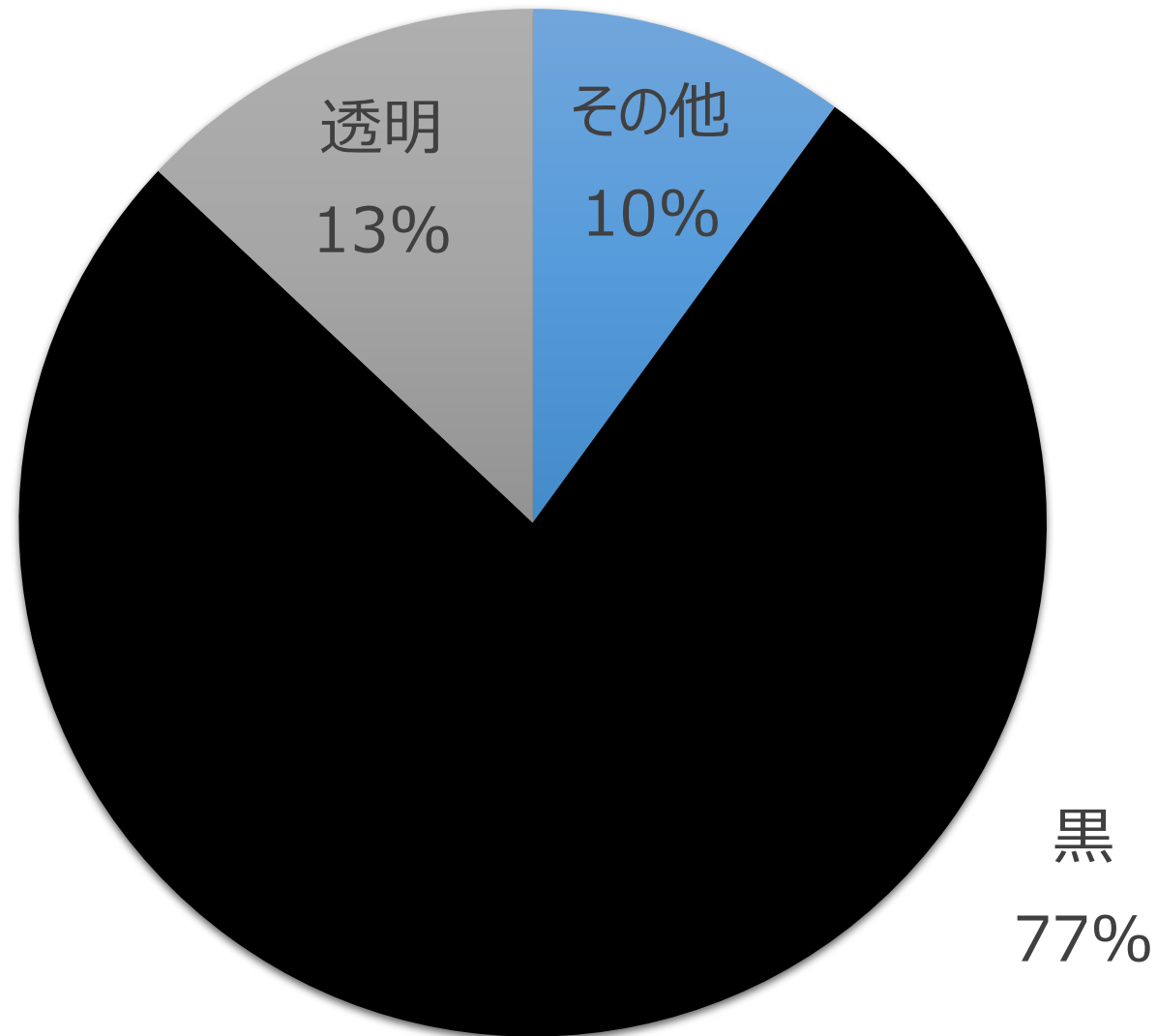
生分解性マルチの利用状況 厚味別シェア



生分解性マルチの利用状況 色相別割合



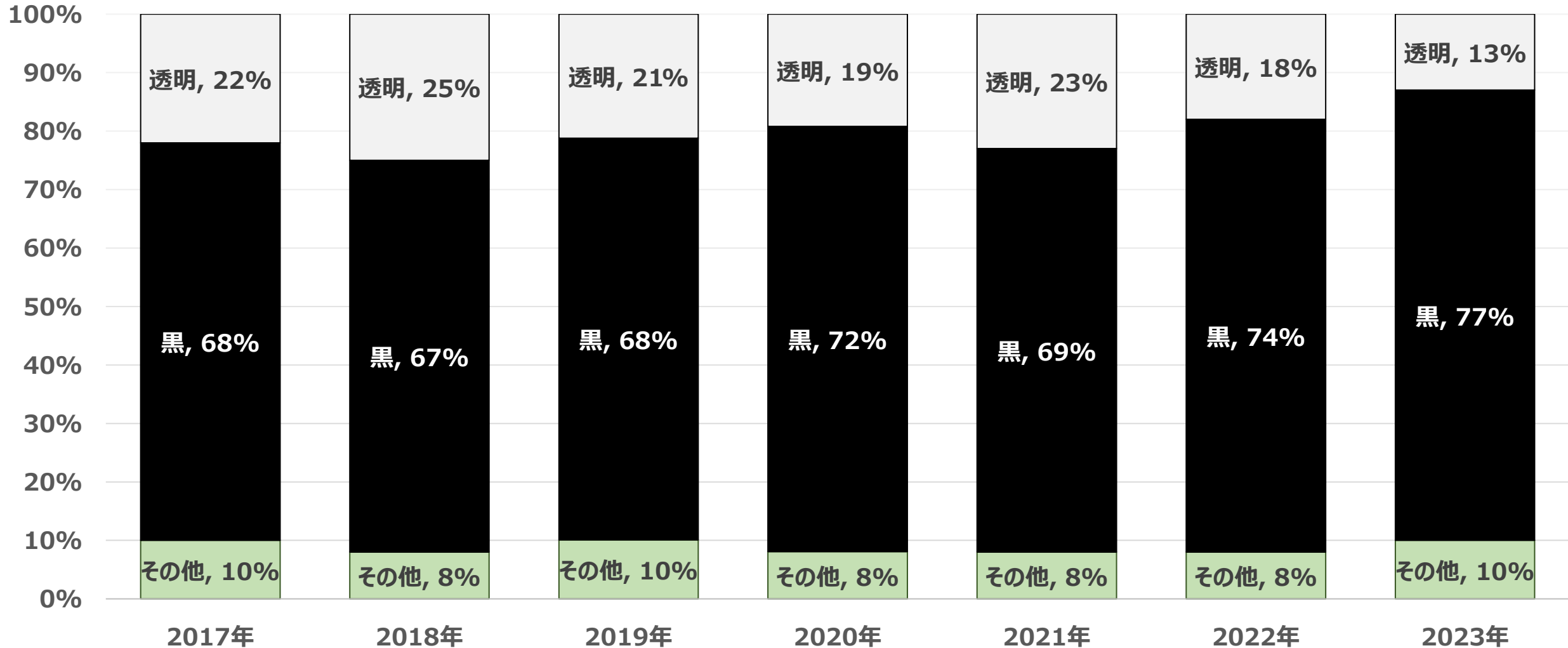
2023年



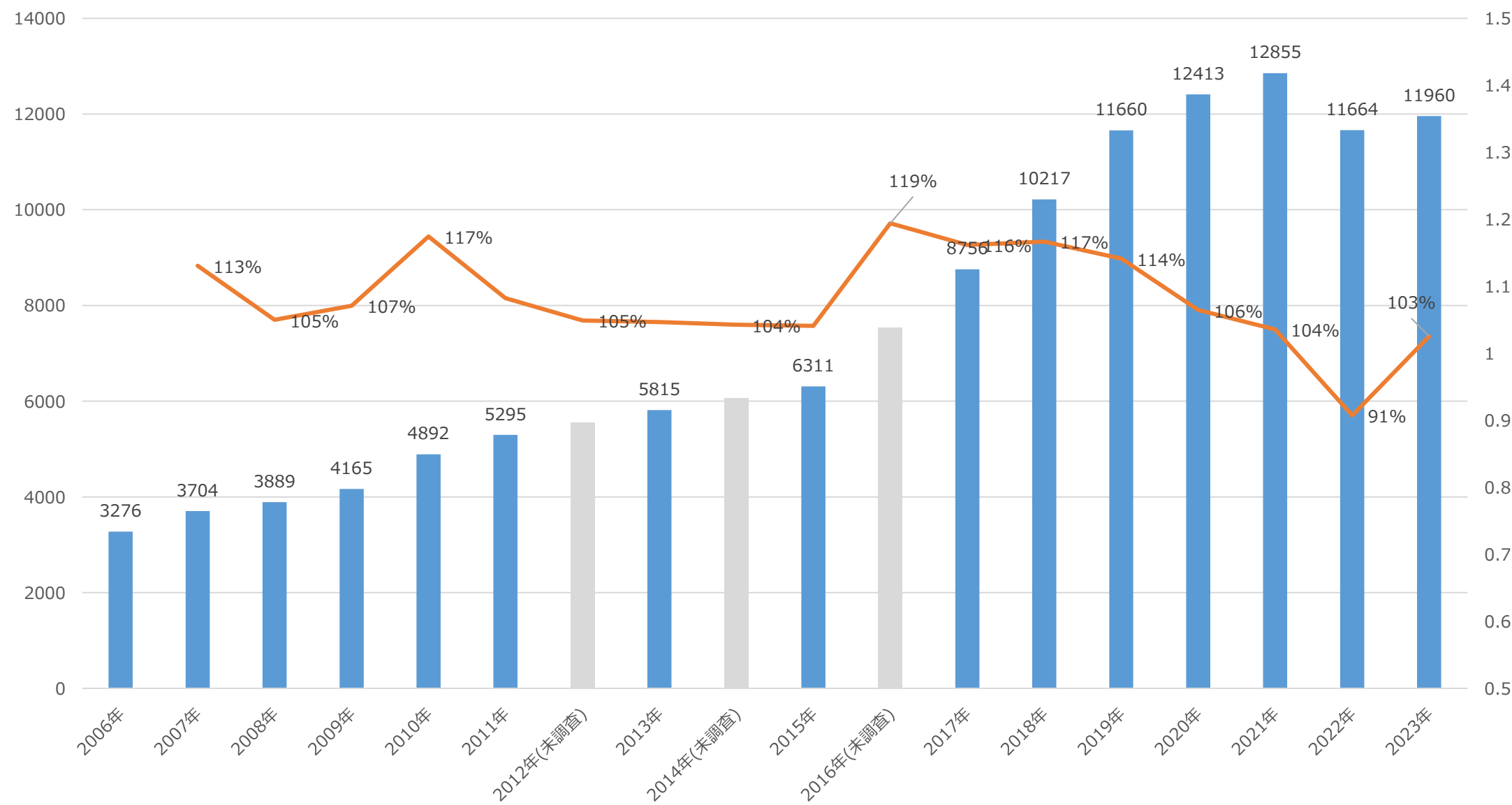
生分解性マルチの利用状況 色相別割合

生分解性マルチの利用状況 色相

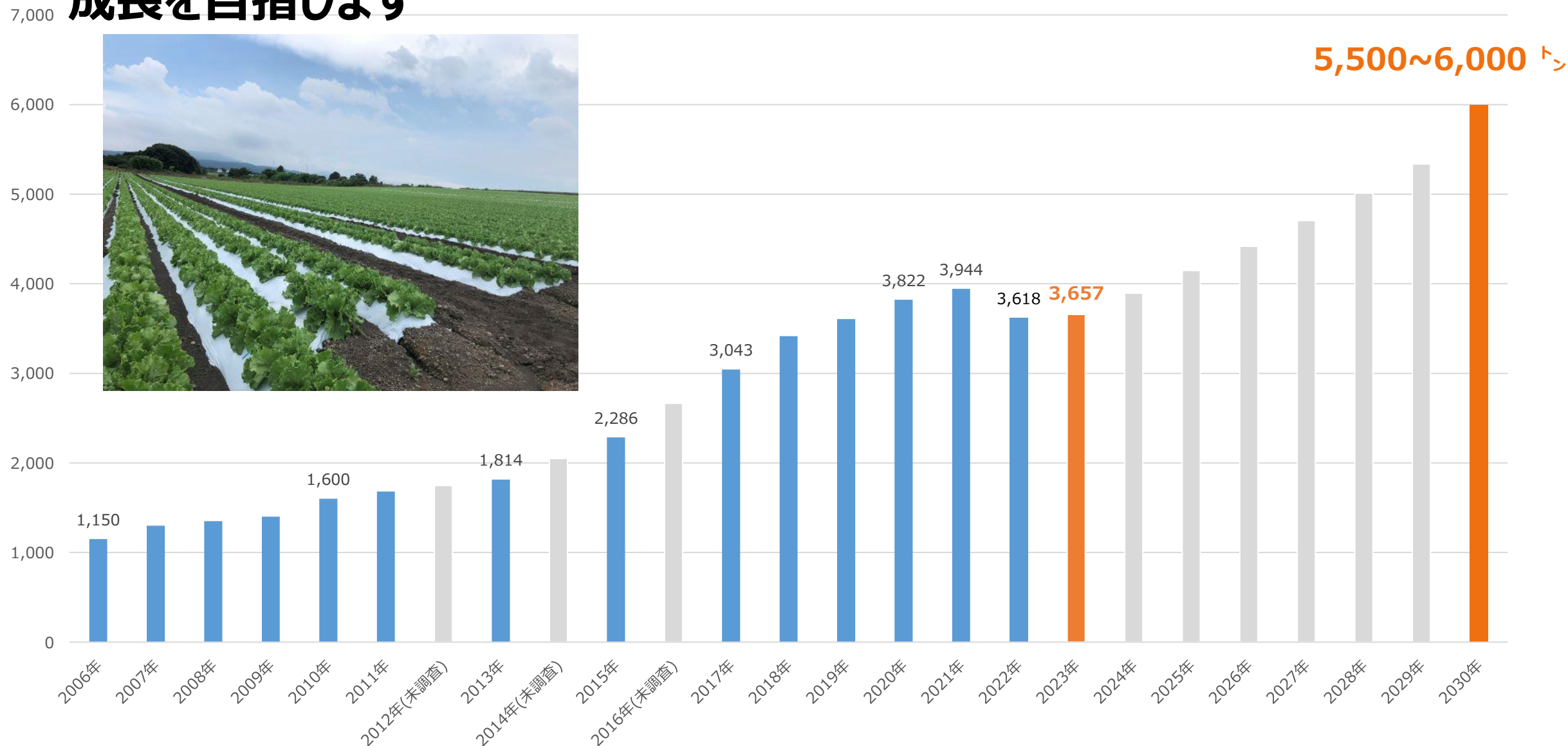
■ その他 ■ 黒 □ 透明



生分解性マルチの利用状況 被覆面積の推計値 (ha)



A B Aは2030年の国内生分解性マルチ市場を5500トン～6000トンへの成長を目指します



生分解性プラスチックの安全性

JBPA（日本バイオプラスチック協会）の認証

日本では生分解の認証は唯一JBPAのみが発行しており、それを取得するには様々な基準をクリアしてはじめて生分解性プラスチックとしての認証を得ることができる為、生分解性及び安全性も高いことが立証されている。

こうした生分解性の基準と、環境適合性の審査基準を満たした製品に「生分解性プラ」のマークと名称の使用を認められている



生分解性
バイオマスプラ



生分解性プラ

バイオマス度25%以上

ABA（農業用生分解性資材普及会）の認証

農業用生分解性資材普及会(A B A)は、農業用生産資材の分野において、生分解性プラスチック（日本バイオプラスチック協会）の規定による生分解性プラ・マーク製品を使用した資材について、開発・利用・普及を促進するために2004年8月に設立しました。会員の製品メーカー、原料製造メーカーなど14社と、賛助員の5団体が参画しています。事務局は日本農民新聞社内にあります。現在は、普及が最も進んでいる生分解性マルチフィルムの利用促進を中心に活動しています。

